博士前期課程（修士） / 実践看護学領域 / 子どもと家族の看護学分野
科目コード：230001

子どもの発達援助論 Child Development and Health

担当教員	西村 真実子、大木 秀一、木村 賛				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	子ども 成長・発達 理論の活用 少子化 育児不安・困難 虐待 子育て支援 ペアレンティング・プログラム				
学習目的・目標	科目のねらい 目的：子どもと家族を生涯発達の視点から捉え、子どもの成長・発達、健康生活、家族や養育環境、これらをサポートする看護職の機能について理解を深めるために、関連する理論･概念、関連領域の知識や研究知見について学ぶ。 目標：１）子どもの成長・発達や健康、子育てをする家族の健康に関する理論･概念、関連領域の知識や研究知見を理解できる。 ２）看護における理論や概念の重要性と、理論や概念を実践活動にどのように応用・活用していくことができるかを理解できる。				

授業計画・内容

回数	授業内容	授業方法
1，2	１）生涯発達の視点、発達過程と発達段階	講義/
	２）発達理解の鍵となる重要な見解	討論
	３）親(母)子関係の理論：ボウルビーの愛着理論	
	４）理論や概念を学ぶ意味	
3	精神分析理論	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ/討論/講義
	(1)フロイトの心理性的理論	
	(2)エリクソンの心理社会的理論	
4	認知理論	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ/討論/講義
	(1)ピアジェの認知発達理論	
	(2)ビゴッツキーの社会文化的認知理論	
	(3)情報処理過程理論	
5	行動学的社会認知理論	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ/討論/講義
	(1)パブロフの古典的条件づけ	
	(2)スキナーのオペラント条件づけ	
	(3)バンデューラーの社会認知理論	
6	１）動物生物学的(動物行動学)理論（ローレンツら）	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ/討論/講義
	２）ブロッフェンブルーナーの生態学的理論	
7	子どもの成長・発達と養育環境Ⅰ：少子化とその背景	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ/討論
8	子どもの成長・発達と養育環境Ⅱ：発達障害及びとりまく現状	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ/討論
9,10	子どもの運動発達	講義/討論
	１）新生児の姿勢能力と運動能力	
	２）乳児の姿勢反射と姿勢発達過程	
	３）乳幼児の運動発達過程とくにロコモーション発達	
	４）乳幼児の運動能力と環境	
	５）乳幼児の体成長と環境、その時代差	
11,12	多胎児の成長・発達と養育環境	講義/討論
	１）不妊治療と多胎児増加に伴う現状と倫理的諸問題	
	２）多胎児の成長や発達の理論と固有の課題	

	３）多胎児をもつ家庭をサポート・支援するための社会資源、制度・政策、養育者の会、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ情報 家族を理解するための諸理論の概観と子どもと家族への看護における活用(子どもと家族のアセスメント、援助方法等)	
13	１）構造・機能的アプローチ ２）家族発達理論 ３）家族システム理論 ４）家族ストレス対処理論 カルガリー家族看護理論	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ/討論/講義
14	家族に関する理論の活用例：1)発達障害児の家族への看護 2)摂食障害の子どものいる家族への看護	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ/討論/講義
15		ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ/討論/講義

教科書	なし
参考図書等	１ Jhon W.Santrock:Life-Span Development,McGraw-Hill,2006 ２ 加藤則子編、すぐに役立つ双子、三つ子の保健指導BOOK、診断と治療社、2005 ３ 鈴木和子、渡辺弘子：家族看護学 理論と実践第2版、日本看護教会出版社、1999 ４ 杉下知子編著：家族看護学入門、メジカルフレンド社、2000 ５ 森山美知子：家族看護モデル アセスメントと援助の手引き、医学書院
評価指標	１ 出席状況・授業への参加状況 40％ ２ プレゼンテーション 40％ ３ 事前学習 20％
関連科目	
教員から学生へのメッセージ	